

新しい「あいち食育いきいきプラン」(案)の概要

第1 新プラン(案)の全体像

プランの名称

「あいち食育いきいきプラン2015(仮称) ～第2次愛知県食育推進計画～」

I プラン作成の経緯

- 平成18年度に第1次プランを作成し、22年度を目標に食育を推進。
- 1次プランの理念や成果を継承しつつ、次のステップとして新たなプランを作成。

II プラン作成の基本的な考え方

- 1 プランの位置付け
 - ①食育基本法第17条第1項で規定する都道府県食育推進計画。
 - ②県民一人ひとりが主体的に食育に取り組むための指針
 - ③関係者が連携・協力して、本県における食育に関する取組を総合的かつ計画的に推進するための基本
- 2 プランの期間 平成23年度(2011年度)から平成27年度(2015年度)まで
- 3 プランの推進 愛知県食育推進会議が中心となり、継続的な県民運動として展開

III これまでの取組の評価と今後の展開

1 「体」、「心」、「環境」に視点をおいた評価

視点	現状と課題
体	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食欠食の改善は小中学生まで ○成人男性の肥満と若年女性の痩身 ○健康な歯を持つ子や高齢者は増加 ○依然として高い食に対する不安
心	<ul style="list-style-type: none"> ○広がらない家族等と食卓を囲む機会 ○生産・加工現場に触れる機会の減少 ○給食での地場産物利用の進展 ○地域の食文化や食事作法の継承不足
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ残しなどに伴う大量の食品廃棄 ○地産地消の気運の高まり ○生産者サイドでの環境配慮の広がり

2 県民意識と食育を支える取組の評価等

項目	内容
県民の意識・行動の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○食育の認知・関心は9割 ○食生活での実践は5割弱
食育を支える取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ○食育推進ボランティアの増加 ○市町村食育推進計画の進展 ○あいち食育ポータル企業団結成 ○食育推進協力店制度の創設
県の強み・地域特性	<ul style="list-style-type: none"> ○健康長寿あいち宣言 ○盛んな農業等と豊かな食文化 ○いいともあいち運動の展開等

IV あいちの目指す食育

1 食育の目標と三本柱(第1次プランを継承)

- 食育の実践による健康で活力ある社会の実現
- ①食を通じて健康な体をつくります
 - ②食を通じて豊かな心を育みます
 - ③食を通じて環境に優しい暮らしを築きます

2 基本コンセプトと取組の特徴

- 基本コンセプト ～啓発から実践へ～
- 取組の特徴
 - ・ライフステージと生活場面に応じた食育
 - ・みんなでいっしょに進める食育

3 食育の目標 14項目(うち新規8項目) 27目標

健康な体をつくるための目標	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食の欠食割合 ○肥満・やせの割合 など5項目17目標
豊かな心を育むための目標	<ul style="list-style-type: none"> ○農林水産業に親しむ県民の割合 ○学校給食での地域産物活用割合 など3項目4目標
環境に優しい暮らしを築くための目標	<ul style="list-style-type: none"> ○県産農水産物の優先購入意向 ○GAP手法の導入件数 など3項目3目標
食育を支えるための目標	<ul style="list-style-type: none"> ○食育推進ボランティアから食育を学んだ人数 ○市町村食育推進計画の作成割合 など3項目3目標

V 県民の主体的な取組

○ライフステージに応じた体系的な取組を提案

乳幼児期【体得】 ⇒ 少年・青年期【学習】 ⇒ 壮年・中年期【実行】 ⇒ 高齢期【伝承】

VI 県や関係団体等の取組

○12の取組の方向に即し、食育の実践に向けた48項目の取組を推進

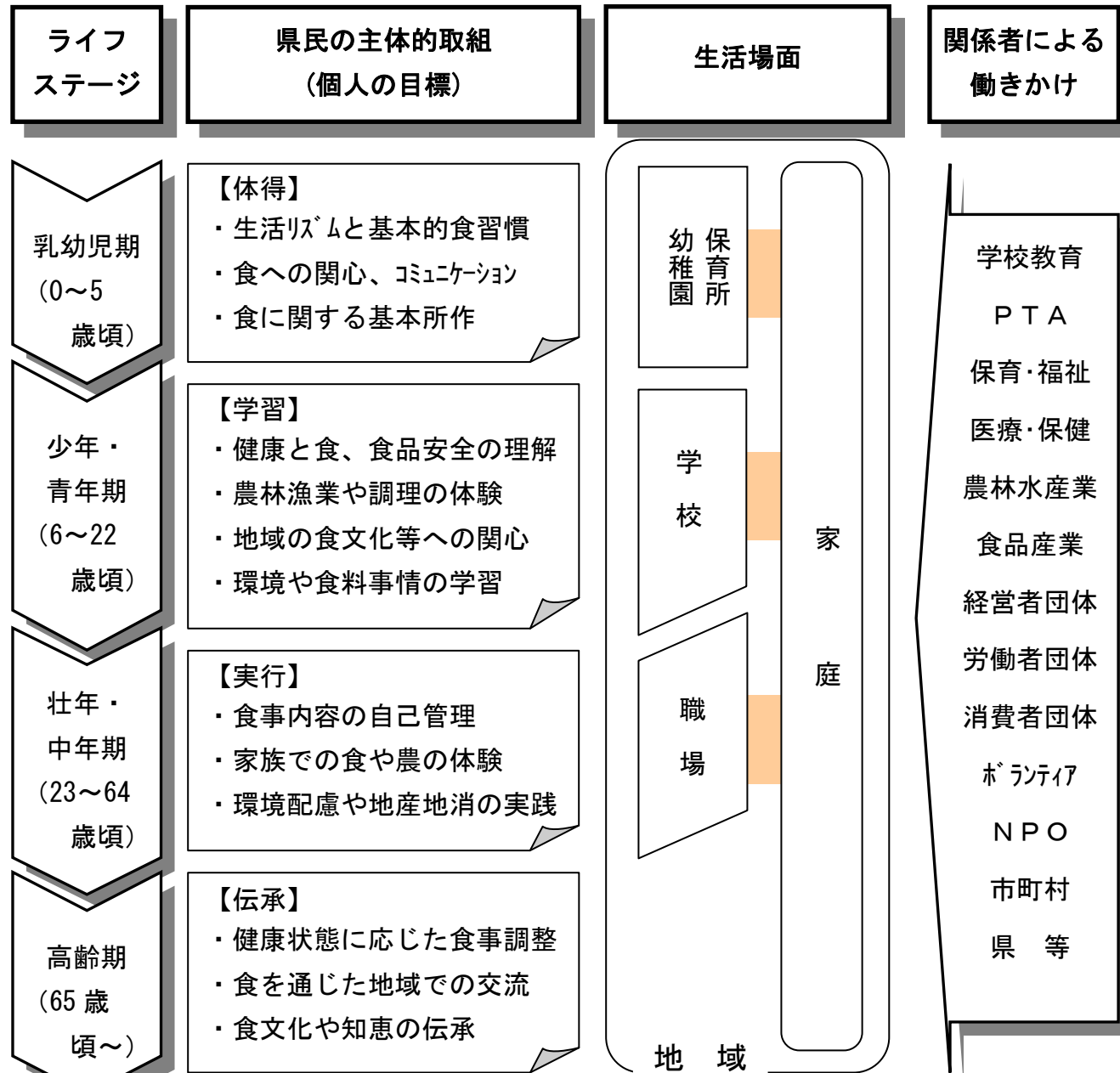
目指すべき姿など	取組の方向	取組項目数
健康な体	<ul style="list-style-type: none"> ①バランスのとれた規則正しい食生活の実践 ②生活習慣病や過度な痩身等の予防 ③食の安全に関する信頼の構築 	7項目 5項目 4項目
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ①食を楽しむゆとりの確保 ②体験や交流を通じた食の理解促進 ③食文化や食事作法等の理解と継承 	3項目 3項目 4項目
環境に優しい暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ①「もったいない」意識の浸透と実践 ②農林水産業への理解と地産地消の一層の推進 ③農林水産業や食品産業における環境配慮の徹底 	3項目 4項目 3項目
食育を支えるために	<ul style="list-style-type: none"> ①食育にかかる人材の育成と活動の支援 ②関係者の役割分担とネットワークの充実 ③いいともあいち運動の推進 	5項目 4項目 3項目

第2 新プランの基本コンセプトと取組の特徴

基本コンセプト ～啓発から実践へ～

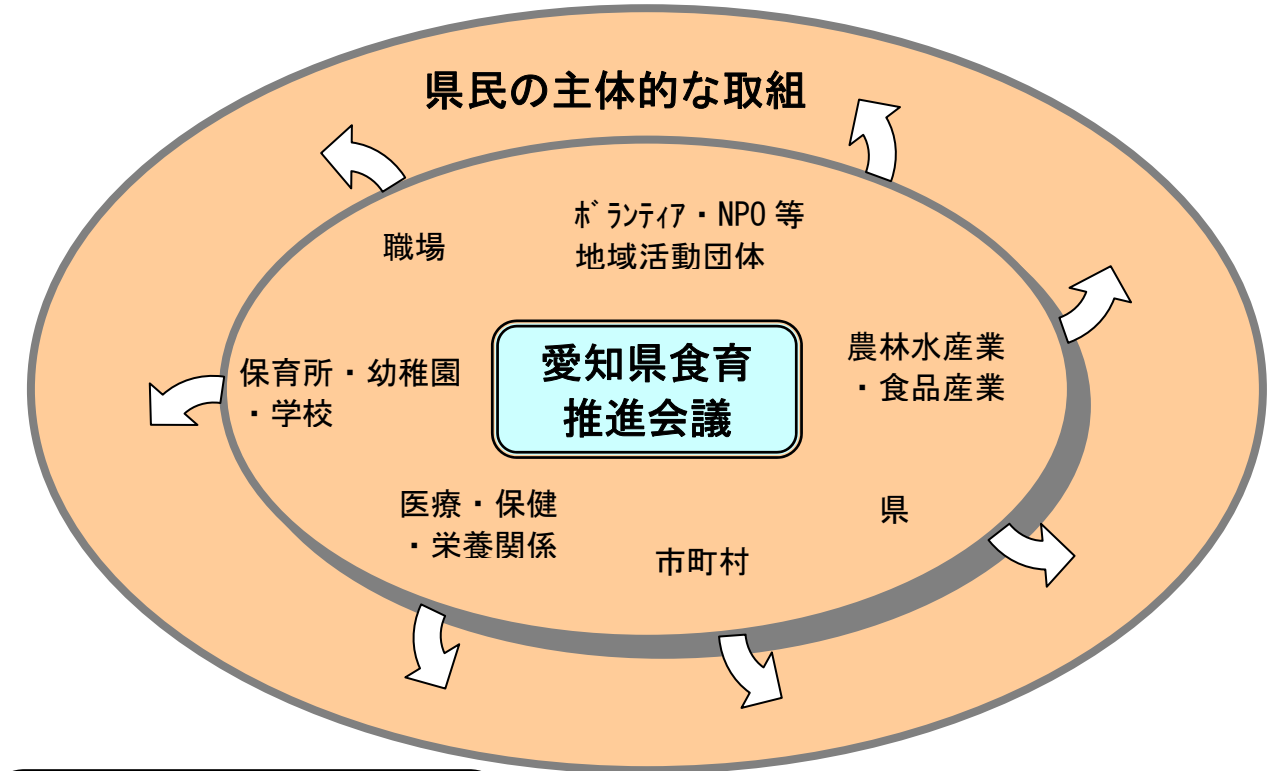
県民の関心が9割という現行プランの成果を踏まえ、プランのコンセプトを「啓発から実践へ」とステップアップ。

1 ライフステージと生活場面に応じた食育



2 みんなでいっしょに進める食育

食に関わる多様な関係者が、その役割と特性を生かしつつ連携・協力して食育を進めるため、各々の役割分担を明確化して県民運動として展開。



保育所・幼稚園・学校

- ・子どもの指導と保護者への情報提供
- ・保育・教育活動や給食等を通じ推進
- ・地域等と連携した体験活動も実施

職場(経営者・労働者団体)

- ・働く世代への健康管理
- ・健康診断や食堂等を活用
- ・家族で食卓を囲む環境づくり

医療・保健・栄養関係

- ・食と健康の観点から指導等
- ・肥満や痩身対策、口腔機能維持など

農林水産業・食品産業

- ・安全で環境に配慮した生産物・食品の供給
- ・情報や体験機会等の提供

ボランティア・NPO等地域活動団体

- ・地域からの支援や実践促進
- ・食生活改善や食を通じた交流、食文化の継承など

市町村

- ・地域に応じた取組推進
- ・食育推進計画の作成と実施
- ・地域関係者のネットワーク化

県

- ・県民運動としての推進
- ・連携や情報共有の調整役
- ・人材の育成や活動の支援